

「伝える」から「伝わる」へ。 役場の広報力を強化中！

こんにちは。竹野内 啓佑です。海田町役場が発行する広報紙やチラシ、PR資料など広報全般について、皆さんはどう評価されていますか？

さまざまな広報のうち、私の目に触れるものは、少しでも良いものになるよう職員に色々注文をつけたり、自ら修正作業したり...「町長はなんでそんな細かいところまで気にするのか？」おそらく職員にはそう思われています(苦笑)。私の専門分野・建築の仕事がミリ単位の世界だったことや、建築家の「美は細部に宿る※1」という言葉に強く影響を受けているせいかもしれません。

行政の広報は、手に取って読んでもらえなければ何も始まりません。特に、マスコミはシビアで、番組や記事に取り上げてもらうことは至難の業。どうやったらテレビ局や新聞社に取材に来てもらえるか——。7月分のプレスリリース※2からスタイリッシュなものに更新※3しました。

そうしたところ、早速、「海田町に「ひまわり迷路」が復活!!」のネタが全国ネットでテレビ放送さ

れました。更新した結果が出たのかも?? と思っています。

伝えたい情報は、誰でも理解できるように。ある程度キャッチーなタイトルをつけてみる。堅苦しい行政文書はNG...私も職員も日々試行錯誤の繰り返し。「伝える」から「伝わる」広報に転換していきます!役場の広報について、町民の皆さんのご意見も聞かせてください!!

- ※1 建築家のミース・ファン・デル・ローエが好んで使った「神は細部に宿る」という言葉の言い換えて、作品の細部にまでこだわることが、作品の本質を決定し、優れた芸術作品を生み出すという考え
- ※2 企業や団体が新商品や新サービス、重要なニュースなどをメディアに発表するための公式文書
- ※3 海田町役場のプレスリリースはこちら



海田町長
竹野内 啓佑



11年振りに復活！ 海田南小学校に「ひまわり迷路」が完成

問 かいたブランド課(役場3階)
☎823-9212 FAX.823-9203

海田南小学校5年生が、町花「ひまわり」をテーマにした授業で、かつて町内で親しまれた「ひまわり迷路」を、学校の畑で11年振りに復活! 高さ約2メートル、約800本のひまわりが咲き誇る迷路は、訪れた人を明るく迎え、「ひまわりに元気をもらった」と喜びの声も。

日の出交差点近くのひまわり畑は、東広島バイパスの整備で姿を消しましたが、「たくさんの人にひまわりを身近に感じてもらいたい」という児童たちの思いから、“かいたのひまわり屋さん”にも協力をしてもらい、苗の植え付けから草取り、迷路のデザインに至るまで児童たちの手で作り上げました。

完成披露の日にはヒマ太君も駆けつけ、会場は笑顔に包まれました。これからも、海田町をひまわりでいっぱいにしましょう!

